



## 創立10周年にあたって

財団法人 消防科学総合センター理事長  
原 徳 安

財団法人消防科学総合センターは、おかげさまで、本年4月16日設立10周年を迎えることとなりました。

当センターは、昭和52年4月、社会環境の変化、災害要因の複雑多様化、各種災害発生危険性の増大等に対処し、「火災、災害に関する科学的調査研究及び情報資料の収集分析」を行うことを目的として財団法人消防科学情報研究センターとして発足し、その後57年4月1日財団法人消防研修協会を合併し、「消防研修に関する調査研究」を加え、現在の名称となったものであります。

当センターは、設立以来業務の根幹である消防防災に関する調査研究については、日本船舶振興会、日本宝くじ協会の助成、消防庁、関係機関の委託等により延べ89件の事業を実施致しました。

情報処理については、毎年消防統計の電算処理を行うほか、各種統計の作成、アンケートの解析等を行っています。

消防研修については、57年以来防災安全研修会を延べ64回開催するほか、救急普及広報車、各種啓発ポスターの作成等防災思想の普及発展を図っているところであります。

このほか、当センターは広く地方団体の有する消防防災の記録、計画、調査研究を計画的に収集し、公開する消防防災調査研究ライブラリーの位置づけがなされており、一般災害関係図書を合せて現在収集点数は雑誌等を除き1万2千余をこえております。

以上この10年、センターはシンクタンクとして消防防災業務の発展のためにいささかなりとも寄与し得たものと考えておりますが、これはひとえに消防庁をはじめ関係機関団体の絶大なるご指導とご援助の賜物であり、心から感謝申し上げます。

今後はこの経験を踏まえ、役職員一同心を新たにして、多岐にわたる業務の一層の充実を図るとともに、特に消防力の最適配置、防災アセスメントの実施と地域防災計画の見直し、地震時の消防力運用の最適化システム等地方団体の個別のニーズに即応する調査研究を開花させ、また昨年発足した救急基金についてもその結実に尽力して参りたいと存じます。

今後とも関係各位の温かいご支援とご協力をお願いする次第であります。